



長瀬町議会議長
野口 健二

年頭のあいさつ



長瀬町長
大澤 タキ江

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、日ごろより町議会活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、災害の多い年でした。長瀬町でも台風19号により土砂崩れや荒川の増水による被害が出ました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を望むところであります。

令和になり初めて新年を迎えました。また、夏には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、その先には2025日本万国博覧会など大きなイベントが控えており、将来への夢と希望が膨らむ年となる予感がいたします。

さて、経済情勢は緩やかに回復基調であるといわれていますが実感できない状況であります。また、日本は世界に例を見ないほど急激に少子化や高齢化が進み、その対応を迫られています。町においても効率的な行政運営や子育て支援、移住・定住等の施策に取り組まなければなりません。

町議会といたしましても、これらの課題に立ち向かいながら、まちづくりの主役は町民の皆様であることを第一に考え、住民の福祉の増進のため、邁進していく所存でございますので、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年の年頭に当たり、新しいこの1年が町民の皆様にとりまして、健康で、はつらつとした、輝かしい年となりますよう、ご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町政に対し、深いご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年10月、台風19号が上陸し、各地に被害をもたらしました。長瀬町も今までにない大雨により甚大な被害を受け、未だにその爪痕が残されておりますが、人的被害がなかったのが幸いでした。今回の教訓を活かし、今後の災害対策につなげてまいり所存です。

同月、第6回全国女性町長サミットin長瀬町が開催されました。「男女共同参画による魅力あるまちづくり」をテーマとし、全国の女性町長の皆様との貴重な意見交換の中で、男女が共に参画する社会を築いていくことが、誰もが住みたい、住み続けたいと思う魅力あるまちづくりの実現につながっていくことを改めて認識することができました。大勢の皆様のご協力のもと、当町で開催できましたこと誠に感謝申し上げます。

また、今年も東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、オリンピック聖火リレーが長瀬町を通過することとなりました。町をあげて、聖火リレーを成功させ、国内外に長瀬町をPRするとともに、オリンピック・パラリンピック成功の気運を高めつつ、当町の観光大使である新井涼平選手がオリンピックに出場し、ご活躍いただきたいと願っております。

依然として、厳しい財政状況ではありますが、職員一丸となって智恵を出し合い結束し、「長瀬町に生まれてよかった、住んでよかった」と思ってもらえる町づくりを進めてまいり所存でございますので、町民の皆様にはより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに令和2年が町民の皆様にとりまして、健康で希望に満ちた輝かしい1年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。